

探究教育と新入試を考えるイベント

それぞれの 探究教育は どうやるべきで、 何がいいのか

探究

9月11日(金) 令和2年

15:00~16:40

会場 **高崎商科大学**

群馬県高崎市根小屋町 741

対象 探究教育にご関心のある高等学校教員

定員 **50名(先着順)** 参加費 **無料**

申込締切 **9月4日(金)**

お申込みは裏面のFAX送信票をご使用いただくか、大学公式サイト特設サイトの専用フォームからお申込みください。

第2部 **パネルディスカッション**
探究と高大接続 15:50~16:40

第1部 **基調講演**

「何のための探究か」

15:00~15:45

講師

(第2部:パネラー)

荒瀬克己

関西国際大学基盤教育機構 教授

京都市立堀川高等学校校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授を経て、2020年から現職。
京都市教育委員会指導部顧問、福井大学教職大学院客員教授、兵庫教育大学理事等を兼職。
中央教育審議会委員・初等中等教育分科会長、新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会長、新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ主査、教育課程部会副部会長、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議委員、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会委員等を務める。

パネラー



田崎 潤

前橋市立前橋高等学校
進路指導主事

東京、千葉で教壇に立った後、1999年に群馬に移る。現任校の前橋市立前橋高校では学年主任、進路指導主事を担当。学力の三要素をバランスよく育成する探究学習プログラム【地域活性化プロジェクト「めぶく」】を立案し、高校と前橋市、産業界などを結びつけた。このプログラムは昨年度のキャリア教育推進連携表彰にて優秀賞を受賞。

パネラー



柴田史郎

面白法人カヤック
執行役員管理本部長

面白法人カヤック執行役員管理本部長。ブレインストーミングを活用し「会社に関するアイデアを出すことで、社員の当事者意識を高める人事制度」を運用。「エゴサーチ採用」など、インターネット上の情報を履歴書の代わりにする採用活動等、人材獲得のためにさまざまな活動を行っている。

パネラー



築 雅之

高崎商科大学
教授・副学長

文系出身の元PCオタク。2001年より高崎商科大学で情報処理・情報システム関連の実習科目、教職課程科目(情報科教育法)、経営情報関連の講義科目を担当。授業以外でもくまプロگرامミングアワードでの作問や小学生向けプログラミング教室、上毛新聞での中学生向け連載記事など、PCとネットワークから離れられないア라운드還暦。

司会・パネラー



鈴木洋文

高崎商科大学
広報・入試室長

高崎商科大学開学前の1999年同短大入職。20年以上にわたり高大接続を担当。地域や産業の発展と高等教育の在り方を考え、未来の大学像を模索し続ける。会計教育における高大連携「Haul-Aプロジェクト」や企業連携「3.5本の矢プロジェクト」などの教育プログラムを考案・実践。高校生や大学関係者向け講演多数。2017年から広報・入試室長。

解説



神谷 俊

面白法人カヤック
社外人事部長

面白法人カヤックの組織文化を俯瞰するため、社外から人事業務に関わる特命人事。面白法人という生態系の維持発展に貢献している。また、一方で多様な組織に在籍し、独自のキャリアを展開。株式会社エスノグラファー代表取締役、Virtual Workplace Lab. 代表、株式会社ビジネスリサーチラボ 研究員など複数職を兼務。経営学修士。